

## 防災・防犯分野

### ▶ 分野の目標

日頃から地域全体として災害や犯罪・事故等への備えが整い、安全・安心に暮らせるまちを目指します。



### ▶ 主な取組

#### 大規模災害への対応力の強化

- ・各種ハザードマップを更新し、自主防災組織による避難訓練等での活用を図り、市民の自主的で迅速な避難行動を促進します。
- ・原子力災害に対する広域的な避難体制の整備を進めます。

#### 災害に強い都市構造の構築

- ・公共施設や水道管・橋梁等の耐震化、ガス管の更新などを進めます。
- ・河川施設や排水路等の適正な管理と、計画的な浸水対策を行います。
- ・空き家の老朽化等による被害発生を防止するため、適切な維持管理や除却に向けた助言・指導等の実施と、利活用の促進を図ります。

#### 消防体制の整備

- ・災害の多様化や大規模化に対応するため、(仮称)消防本部・上越北消防署の整備を進めます。
- ・地域の消防力を確保するため、消防団の再編や消防資機材の適正配置を進めます。

#### 地域防災力の維持・向上

- ・市民一人ひとりの防災の知識・意識を高め、減災の取組や適切な避難行動につなげます。
- ・自主防災組織の活動を支援するとともに、組織化が困難な地域では、住民同士で助け合える体制づくりなどの支援を行います。

#### 防犯対策の推進

- ・多様化・巧妙化する犯罪に対応するため、出前型の防犯教育や世帯訪問による啓発活動を行います。
- ・地域の見守り活動など、地域ぐるみの防犯活動を推進します。

#### 交通安全対策の推進

- ・高齢者が関わる交通事故を抑止するため、各種イベントや世帯訪問による啓発活動を行います。
- ・学校や町内会等の交通安全教室に講師を派遣するなど、交通安全教育に取り組みます。

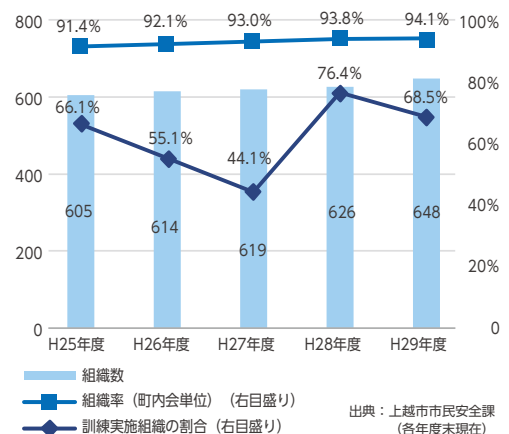


▲ハザードマップを活用した町内会の危険箇所確認



▲総合防災訓練

#### 自主防災組織の推移



### ▶ 主な施策目標

項目	現状値 (時点)	目標 (H34)
避難行動要支援者の個別避難計画作成率 (町内会単位)	87.8% (H29)	100%
安全メールの登録件数 (累計)	11,088 件 (H30.10)	22,000 件

## 環境分野

### ▶ 分野の目標

市民一人ひとりに環境に対する意識が根付き、自ら行動することにより、豊かな自然が大切に守られ、良好な環境の中で心地よく暮らせるまちを目指します。



### ▶ 主な取組

#### ごみ減量・リサイクルの推進

- 出前講座やクリーンセンターの施設見学などの環境教育を充実し、ごみの適正処理とリサイクルを推進します。

#### 環境汚染の防止

- 大気汚染や水質汚濁等の公害を防止するため、法令等に基づく計測や規制の遵守に向けた監視を行います。
- 生活排水による水質汚染を防止するため、公共下水道・農業集落排水の接続率と合併浄化槽の設置率の向上に取り組みます。



▲きれいな川で遊ぶ子ども達 (大島区・保倉川)

#### 自然環境の保全

- 多様な生態系を維持していくため、各種保全活動等を推進するとともに、大型鳥獣による被害防止に取り組みます。
- 公害の防止と自然環境の保全を図るため、開発事業者等に対して、環境に配慮した適正な事業の実施を求めます。



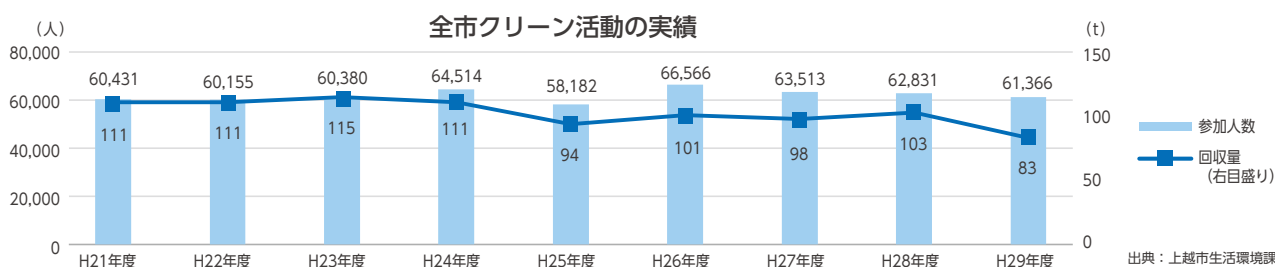
▲雪冷熱を活用した施設 (安塚区信濃坂・雪室)

#### 地球温暖化対策の推進

- 雪冷熱や地中熱等の利用効果を市民や事業者へ周知し、再生可能エネルギーの導入を促進します。
- 省エネルギー化を推進するため、環境団体と連携して市民意識の高揚に取り組みます。

#### 環境学習の推進

- 環境団体と連携して様々な環境情報の発信や環境学習の機会を提供します。
- 全市クリーン活動や市民・事業者による主体的な環境美化活動を推進します。



### ▶ 主な施策目標

項目	現状値 (時点)	目標 (H34)
家庭ごみの資源化率	44.4% (H29)	50.0%
温室効果ガスの年間排出量	2,413 千 t-CO2 (H26)	2,224 千 t-CO2 以下 (H31)

## 健康福祉分野

### ▶ 分野の目標

誰もが生涯を通じてこころと体の健やかさを保てる環境が整い、安心して自分らしく暮らせるまちを目指します。



### ▶ 主な取組

#### こころと体の健康の増進

- ・市民の健康増進のため、生活習慣病の発症と重症化予防に取り組みます。
- ・市民のライフステージの課題に応じた自殺予防対策を推進します。

#### 地域医療体制の充実

- ・将来にわたり必要とされる医療を持続的に提供するため、上越地域医療センター病院の安定経営と施設の改築を進めます。
- ・地域の医療体制を維持するため、医師の確保に向けて取り組みます。

#### 高齢者福祉の推進

- ・豊かな知識や経験等を有する高齢者の活動と活躍の場を創出します。
- ・地域全体で高齢者の介護予防や認知症予防、見守りに取り組む体制づくりを進めます。

#### 個性を尊重した障害者福祉の促進

- ・障害のある幼児の相談体制と療育支援を充実し、就学に向けて切れ目のない支援を行います。
- ・障害のある人の就労・定着の支援や、農業者、社会福祉法人等と連携した農福連携の取組を推進します。

#### 複合的な課題を抱える世帯への支援

- ・自分や家族だけでは解決が困難な課題を抱える世帯や各種制度の狭間にいる人を支援するため、相談体制の強化に取り組みます。
- ・生活困窮者等の早期の自立に向けて、相談支援体制の充実に取り組みます。

#### 子育てに関する負担や不安の軽減

- ・妊産婦健診や乳幼児健診などを通じて母子保健の充実に取り組みます。
- ・各種医療費助成や保育料の軽減、子どもの貧困対策など、子育て家庭の経済的負担の軽減に取り組みます。
- ・こどもセンター等の子育て環境や相談支援、児童虐待の予防・解消に取り組みます。

#### 子育て環境の充実

- ・保育士の確保や保育サービスの充実、私立保育園等との連携による保育園の適正配置を進め、安全で快適な保育環境を整えます。
- ・保護者の就労形態や保育ニーズの多様化に対応した多様な保育サービスを提供します。



▲認知症について語り合う「認知症カフェ」



▲障害福祉施設の交流イベント「ふくしのひろば」



▲オーレンプラザこどもセンター

### ▶ 主な施策目標

項目	現状値（時点）	目標（H34）
認知症サポーター養成者数	2,159人／年 (H28-29 平均)	2,300人／年
待機児童数	0人 (H29)	0人

## 産業・経済分野

### ▶ 分野の目標

力強く自立性の高い地域経済が構築され、生活の糧となる働く場を選択することができ、生きがいをもって暮らせるまちを目指します。



### ▶ 主な取組

#### ものづくり産業・商業の振興

- ・市内の中小企業・小規模企業の業務改善や人材育成、事業承継など、経営基盤の安定・強化に向けた取組を支援します。
- ・地域資源をいかした新商品・新技術の開発や販路拡大、企業の技術力の維持や技能伝承の取組を支援します。
- ・商店街等による魅力向上や集客促進・まちなかの核となる施設との連携などの取組を支援し、商店街の維持・活性化を図ります。



▲直江津港に入港する LNG 船  
(国際石油開発帝石株式会社提供)

#### 物流・貿易の振興

- ・直江津港の集貨力増加に向けた取組を推進します。
- ・市内企業の海外取引の促進に向けた支援を進め、物流・貿易の活性化を図ります。



▲創業セミナー

#### 新産業・ビジネス機会の創出

- ・地域経済の活性化に向け、的確な企業誘致活動を展開します。
- ・産業の新陳代謝を進めながら民間活力を高めていくため、新規創業や第二創業、事業承継に伴う経営革新を支援します。



▲ドイツ体操ジュニアチームとの交流

#### 観光の振興

- ・市民の観光振興に参画する機運を高め、観光コンテンツの魅力向上や受入れ態勢の充実に向けた取組を推進します。
- ・広域交通網をいかした誘客促進に取り組みます。
- ・水族博物館「うみがたり」や高田公園等の主要な観光資源と各地の歴史・文化的資源を結び周遊・滞在交流型観光の強化に取り組みます。

#### 交流機会の拡大

- ・東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿受入れの取組等をいかし、交流機会の創出や各種コンベンションの誘致を進めます。
- ・宿泊・飲食・交通等の事業者と連携し、情報発信や受入れ環境の充実を図り、コンベンションの誘客効果を地域全体に広めます。

#### 就労支援の充実

- ・求人と求職のミスマッチの改善や若者の地元定着、女性や高齢者等の雇用促進に取り組みます。
- ・技能労働者に職業訓練の場を提供するとともに、支援が必要な人の就職に役立つ資格取得を促すなど、技術・技能の向上を支援します。
- ・ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、市内事業者等への制度周知や意識啓発を行います。

### ▶ 主な施策目標

項目	現状値 (時点)	目標 (H34)
メイド・イン上越認証品数 (累計)	114 品 (H30)	138 品
インターンシップを受け入れている市内企業の割合	45.5% (H29)	50.0%

## 農林水産分野

### ▶ 分野の目標

なりわいとしての農林水産業や農山漁村に活力があり、そこから生み出される多様な恵みを受けて豊かに暮らせるまちを目指します。



### ▶ 主な取組

#### 農業の振興

- ・農畜産物の安定生産と品質向上、鳥獣被害の防止に取り組みます。
- ・持続可能な営農体制を構築するため、集落営農等による組織化・法人化と法人間連携を促進し、担い手の確保に取り組みます。
- ・需要に応じた多様な米の生産や、生産コストの低減に効果的な技術の普及を図るなど、農業者の所得向上に取り組みます。



▲新規就農者による田植作業

#### 林業・水産業の振興

- ・林業者の経営の安定化に向けて、担い手の確保や市内産木材の需要拡大を図るため、間伐等の森林整備を進めます。
- ・水産資源を維持し、安定的な漁獲量を確保するため、漁業関係団体による種苗放流等の取組を支援します。



▲農業体験交流（牧区稲刈りツアー）

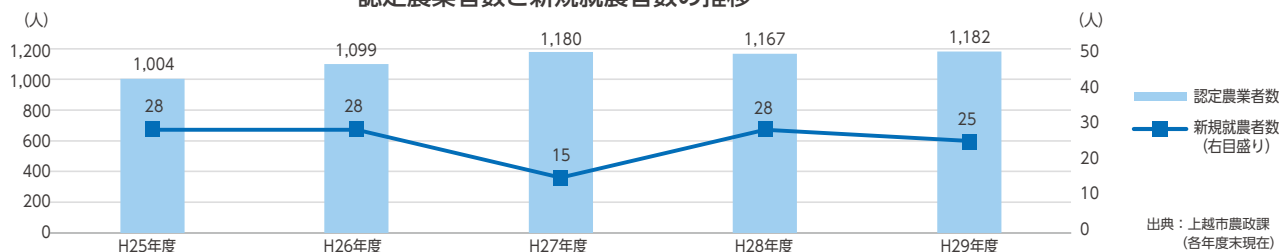
#### 中山間地域の振興

- ・各集落への農業技術の指導・助言のほか、生産活動や農地を維持するための集落を超えて連携する取組や、棚田米を始めとする農作物の販売促進などを支援します。
- ・農業体験・交流の促進や中山間地域の魅力発信、移住者の受入れ、コミュニティ機能の維持などの取組を支援します。

#### 農・食を通じた生きる力の向上

- ・市民が食に関する知識を習得し、健全な食生活を営むため、市民団体等が取り組む食育活動を支援します。
- ・高齢者や女性の活躍の場となる魅力のある農業を確立するため、園芸作物の生産や加工品等の開発・販売活動を推進します。

認定農業者数と新規就農者数の推移



### ▶ 主な施策目標

項目	現状値 (時点)	目標 (H34)
認定農業者等の担い手への農地集積率	68.0% (H29)	90.0%
中山間部に住んでいる市民の暮らしやすいと感じている割合 (上越市市民の声アンケート)	70.9% (H30)	80.0%

## 教育・文化分野

### ▶ 分野の目標

学び高め合う環境が整い、まちの歴史・文化が誇らしく感じられ、心豊かに暮らせるまちを目指します。



### ▶ 主な取組

#### 「知・徳・体」を育む学校教育の推進

- ・確かな学力の定着を図るための授業改善や、個々の特性に合った支援など、一人ひとりに寄り添った教育を推進します。
- ・上越カリキュラムの実践、キャリア教育、ICT教育など、特色ある学校教育を推進します。

#### 学校教育環境の整備

- ・保護者の経済的負担の軽減や奨学金制度により、全ての子どもたちが安心して学ぶことができる環境を整えます。
- ・望ましい学習環境を確保するため、学校の適正配置や施設の整備・改善を進めます。
- ・学校・家庭・地域が連携した地域ぐるみの教育を推進します。

#### 学びを通じた人づくり、地域づくりの推進

- ・市民の多様な学習ニーズに対応した学習機会の充実を図ります。
- ・地域の活性化を図るため、公民館活動を通じて、地域づくりを担う人づくりを推進します。
- ・読書の重要性に対する市民の意識啓発を図り、特に児童・青少年の読書活動の推進に取り組みます。

#### スポーツ活動の推進

- ・市民の幅広いスポーツ活動を推進するとともに、東京オリンピック・パラリンピックの開催を好機として、スポーツ活動の活発化を図ります。
- ・ジュニアトップアスリートの育成強化に取り組みます。

#### 文化活動の振興

- ・歴史・文化的資源の価値や認知度の向上、保存、それらを活用した誘客や回遊の向上に取り組みます。
- ・市民の創作活動や展示、発表の場を提供し、充実した活動を展開できる環境を整えます。



▲中学生の職場体験



▲公民館事業（家庭教育支援講座）



▲日本体育大学との連携事業（陸上競技）

### ▶ 主な施策目標

項目	現状値（時点）	目標（H34）
学校が楽しいと感じる児童・生徒の割合 （全国学力・学習状況調査）	小学6年生 88.2% 中学3年生 84.5% （H29）	小学6年生 95.0% 中学3年生 90.0%
市内の総合型地域スポーツクラブ、スポーツ協会に属する会員数	24,359人（H29）	26,600人

## 都市基盤分野

### ▶ 分野の目標

暮らしと産業を支える機能的・安定的な都市基盤が整い、魅力的な空間の中で快適に暮らせるまちを目指します。



### ▶ 主な取組

#### インフラ整備の最適化

- ・道路や河川、公営住宅等のインフラを計画的に維持・修繕し、長寿命化を図ります。
- ・既存インフラを最大限活用するとともに、新たなインフラは必要性や優先度を踏まえ、効率的・効果的に整備・更新します。

#### 機能的・効率的な交通ネットワークの確立

- ・バス路線の階層化や、きめ細かな運行形態の導入、鉄道・バスの利用促進などにより、地域交通の利便性の向上を図ります。
- ・新幹線等の広域交通と地域内の公共交通等の連結を強化し、総合的な交通ネットワークの形成を目指します。
- ・機械除雪による除雪体制を維持するとともに、消融雪施設の整備を進め、冬期間における安全・安心な交通網を確保します。

#### 土地利用政策の推進

- ・生活の快適さと自然環境の豊かさを持続させるため、土地利用の適正な規制や誘導、大規模開発の適正化を図ります。
- ・市街地の適正規模を維持しつつ、まちなかへの居住や魅力向上に向けた整備を推進します。

#### 地域の個性をいかした空間形成

- ・良好な景観への誘導や、市民や事業者の主体的な景観づくりの活動を支援し、景観をいかしたまちづくりを推進します。
- ・市民の緑化に関する意識の啓発や取組の支援により、自然と調和した都市空間の形成と安全面等に配慮した公園整備に取り組みます。



▲橋梁の点検作業



▲バスの乗り方・交通安全教室



▲市民の主体的な取組による  
景観まちづくり（南本町三丁目）

### ▶ 主な施策目標

項目	現状値（時点）	目標（H34）
快適に走行できる市道の割合 （規格改良された市道の割合）	70.4%（H29）	70.6%
立地適正化計画の誘導重点区域内における65歳未満の人の 区域外への転居数	341人／年（H29）	300人／年以下

# 6 重点戦略

○重点戦略は、将来都市像の実現に向けて、各政策分野での取組に加えて、分野横断的・重点的に取組を進めていくための方針です。当市の課題や市民の声アンケートの結果を踏まえ、当市のまちの力をいかしたまちづくりを進めていく観点から、「暮らし」「産業」「交流」をキーワードとした3つの戦略を設定しました。

## 戦略1 暮らし


暮らしの安心感を高める  
“つながり”の構築

市民の暮らしの安心感を高めるため、行政、市民、地域コミュニティ、関係機関等の連携の下、人と人、人と地域などの多様な“つながり”を強化・構築し、“つながり”を通じた支え合いの取組を促進します。

次の四つの視点から、分野横断的  
重点的な取組を進めます

- 1 市民のライフステージに着目した“つながり”
- 2 居住地域ごとの状況の違いに着目した“つながり”
- 3 最適な枠組みによる“つながり”
- 4 支え合いの担い手の拡大

【例えば】  
身近な地域の課題を、それぞれの実情に応じて地域住民自身の手で解決していくため、人材育成や、地域コミュニティ活動への支援、ノウハウの共有化などを強化。



## 戦略2 産業


地域の元気と働きがいを生む  
産業の創出

地域の元気と働きがいを生む産業を創出するため、行政、市民、地域コミュニティ、関係機関等の連携の下、多様な地域資源をいかした地域経済活性化と、市民が生きがいを持って働ける雇用環境の整備を推進します。

次の四つの視点から、分野横断的  
重点的な取組を進めます

- 1 多様な地域資源の組合せ
- 2 地域内経済循環の向上
- 3 地元産品の市場の拡大
- 4 働く場の選択肢の拡大

【例えば】  
上越ならではの農業の恵みをいかし、市場ニーズを捉えた特産品づくりを一層積極的に進めていくため、農・工・商連携、産・学・官連携を強化し、意欲的な取組を重点的に支援。



## 戦略3 交流


交流圏の拡大をいかした  
豊かさの向上

交流圏の拡大をいかして市民生活の豊かさの向上を図るため、行政、市民、地域コミュニティ、関係機関等の連携の下、交流圏域全体を見据えた交流人口の拡大と、交流による効果を市内に波及させていく取組を推進します。

次の三つの視点から、分野横断的  
重点的な取組を進めます

- 1 多様な目的による交流の促進
- 2 経済効果の拡大
- 3 心豊かな暮らしの実現

【例えば】  
新水族博物館の整備効果を最大限に発揮させ、地域活性化につなげるため、地域住民や商業関係者との連携強化による市内での回遊性向上やリピーター化など、経済効果を高めるためのしかけづくりを推進。

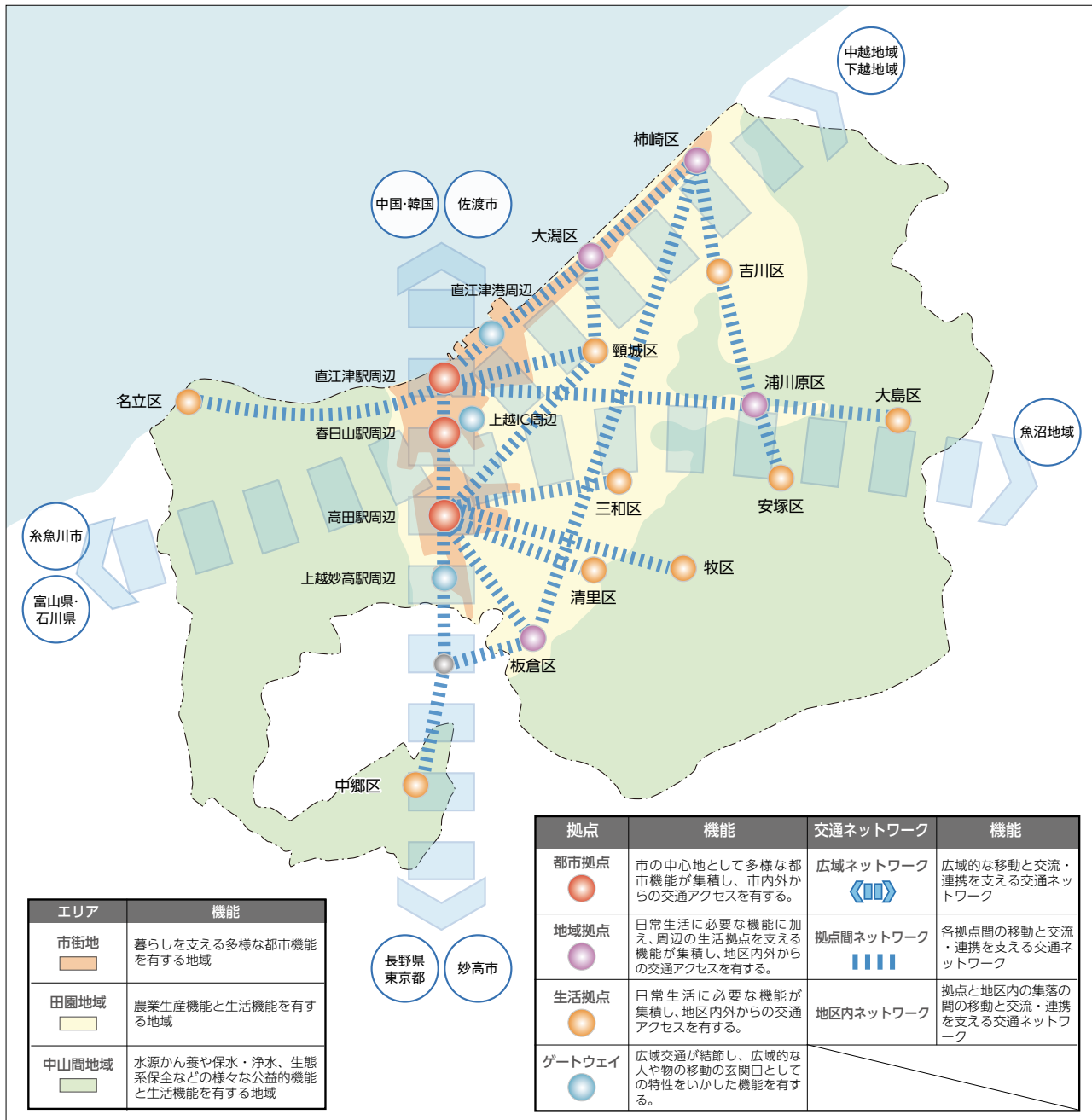




# 7 土地利用構想

- 土地利用構想は、今後の人口減少の進行や財源不足が懸念される財政状況下において、市民の皆さんのすこやかな暮らしを守り、次の世代にこのまちを引き継いでいくための土地利用の方向性や、暮らしを支える都市機能と交通ネットワークの整備の考え方について、「面・点・線」の三要素から示したものです。
- 「面」とは、市域を地勢的特徴に応じて区分した三つの「エリア」の考え方、「点」とは、施設や店舗などの都市機能が集まる中心市街地や各区総合事務所の周辺などの場所を「拠点」と位置付ける考え方、「線」とは、道路や鉄道、バスなどの「交通ネットワーク」の考え方のことです。

## 面・点・線によるまちの構造のイメージ



※エリアはおおむねの範囲を、拠点はおおむねの位置を示したものです。

※交通ネットワークは、人や物の移動をイメージで示したものです。生活拠点の間を結ぶ拠点間ネットワークと地区内ネットワークは図示していません。

## 上越市第6次総合計画 後期基本計画 [概要版]

平成30年12月策定

平成31年3月発行

発行 上越市

編集 上越市企画政策部企画政策課

〒943-8601 新潟県上越市木田1丁目1番3号

T E L (025)526-5111 F A X (025)526-6111

U R L <https://www.city.joetsu.niigata.jp/>



上越市